

## ランク付け

### 1. ランク付けの方法

秒速・総まくり2021では、2020年（令和2年）までの出題傾向を踏まえて、2021年の出題可能性を基準として、分野、判例・論点ごとのランク付け（A・B・Cの3段階）をします。

ランクは、テキスト右の余白にあらかじめ反映しています。

2020年の試験終了後、出題傾向等を確認した上で、2021年の出題可能性を基準としたランクの修正を行います（既に、受講ページにレジュメをアップロードしております）。

### 2. ランク付けの意味

以下は、判例・論点ごとのランクに関する大まかな意味です。

A：理由付け・規範の双方につき、マーク箇所を正確に記憶する

B：マーク・アンダーライン指示のある規範さえそれなりに正確に書くことができれば、合格水準に達する

C：仮に出題された場合に備えて、論点の存在と解釈の結論（判例・通説の立場）を知っておけば足りる（判例・通説っぽい解釈の結論を書くことができれば、合格水準に達する）

## マーク・アンダーラインの指示

### 1. マーク・アンダーラインの指示の方法

秒速・総まとめ 2019 版までは、マーク・アンダーラインの色・箇所を口頭で指示しておりました。

2020 版以降では、内容面に関する説明を充実させるためには講義における形式的な説明をできるだけ減らす必要があるとの考えから、マーク・アンダーラインを反映した動画を別に用意いたします（マーク・アンダーライン済みのテキストを PDF 化→PC 画面録画→受講ページに動画をアップロード）。

そこで、受講者の方々には、上記動画を視聴してマーク・アンダーラインを済ませてから、本編の動画を視聴して頂くことになります。

### 2. マーク・アンダーラインの意味

#### (1) 4 色のマーカー・ボールペン

事前に、ブルー・ピンク・オレンジ・グリーンのマーカー、黒・青・赤・緑の 4 色ボールペンを購入して頂きたいと思います。

なお、下記の (3) (4) の色分けが、これまでのご自身の色分けと合わない場合には、ご自身の色分けに従って頂ければと思います。

#### (2) マークとアンダーラインの違い

マーク箇所の方が重要です。まずはマーク箇所から優先して記憶し、マーク箇所の記憶が定着してきたら、アンダーライン箇所まで記憶範囲を広げます。

マーク箇所は、必ず、正確に記憶する必要があります。これに対し、アンダーライン箇所は、余力があれば、ある程度不正確でも構わないから記憶しておくというイメージです。

#### (3) マークの色分けの意味

ブルー：テキストの記述のうち、最も正確に記憶する必要があることです。主として、定義、判例・学説の規範、条文知識などです。

原則・例外のうち、原則部分について使うこともあります。

ピンク：条文の趣旨、論証の理由付け、判例の当てはめ（積極方向の事実・評価）などです。

オレンジ：反対説、反対利益、判例の当てはめ（消極方向の事実・評価）などです。

原則・例外のうち、例外部分について使うこともあります。

グリーン：問題意識、テクニカルタームなどです。4 色の中で、最も使用頻度が低いです。

#### (4) アンダーラインの色分けの意味

黒：条文知識、論点の結論、余力があれば記憶してほしい規範などです。

青：条文の趣旨、論証の理由付け、当てはめ（積極方向の事実・評価）などのうち、余力があれば記憶してほしいことです。

原則・例外のうち、原則部分について使うこともあります。

赤：反対説、反対利益、判例の当てはめ（消極方向の事実・評価）などのうち、余力があれば記憶してほしい箇所です。

原則・例外のうち、例外部分について使うこともあります。

緑：問題意識、テクニカルタームなどです。ほとんど使うことがありません。